

日本産業衛生学会 産業保健看護専門家制度  
2019年度 産業保健看護専門家制度登録者 認定試験要領

1. 目的 「日本産業衛生学会 産業保健看護専門家制度に係る規程」 第8条に基づき、産業保健看護専門家制度登録者（保健師）認定試験及び産業保健看護専門家制度登録者（看護師）認定試験を行う。
2. 試験日時 2020年1月26日（日） 13時30分～15時10分（受付13時00分～）
3. 試験会場 東京会場：東京有明医療大学（東京都江東区）  
大阪会場：アットビジネスセンター大阪梅田（大阪府大阪市）  
博多会場：アサヒビール株式会社 博多工場（福岡県福岡市）  
愛知会場：日本福祉大学 **東海キャンパス（愛知県東海市）**  
※ 今年度は、上記4か所で試験実施を予定しております。様式第様式12号-1の「受験会場希望」欄に、受験地について第1希望から**第3希望**まで記載してください。受験地の決定は受付順となります。
4. 受験料 11,000円（税込み）
5. Web申し込み期間： 2019年11月15日（金）～12月14日（土）
6. 試験に関する事項 所要時間：100分  
出題形式：4肢及び5肢から1あるいは2の正解を選択するマークシート式の問題  
問題数：100問  
なお、試験問題は回収する。
7. 出題基準：別表のとおり
8. 標準参考書：①中央労働災害防止協会（編集） 労働衛生のしおり（最新版）  
②厚生統計協会 国民衛生の動向（最新版）  
また保健師・看護師としての活動については、標準参考書以外からも出題されることがある。
9. 結果の通知：受験者には2月下旬に結果を郵送する。
10. 受験申し込みの流れ  
Web申し込みページ (<https://forms.gle/pwE8PJXVvWx5nds7>) から受験申請をした後、以下の書類を、**12月14日（土）まで**に事務局までご送付ください（当日消印有効）。必要書式は産業保健看護専門家制度委員会ホームページ (<http://hokenkango.sanei.or.jp/>) の「登録者認定試験の受験と登録について 関係書式」よりダウンロードしてください。
  - 1) 産業保健看護専門家制度登録者認定試験 受験資格審査・受験申請書（様式12号-1）
  - 2) 履歴書（様式第9号）
  - 3) 保健師免許証（写）もしくは看護師免許証（写）
  - 4) 第一種衛生管理者免許証（写）（保健師免許を有しないものに限る）
  - 5) 受験料 11,000円（税込み） 銀行振り込み票（写）を様式12号-1裏面に貼付する。  
振込先：三菱UFJ銀行新宿西支店（店舗番号055）口座種別：普通  
口座名：産業保健看護専門家制度委員会事務局 会計担当木幡義信（コハタヨシノブ）  
口座番号：0574204

11. 必要書類送付先

〒160-8306 東京都新宿区西新宿 5-25-11-2F(株)日本小児医事出版社内  
 日本産業衛生学会 産業保健看護専門家制度委員会 事務局

12. 問い合わせ先

日本産業衛生学会 産業保健看護専門家制度委員会 事務局 佐藤 貴志  
 〒160-8306 東京都新宿区西新宿 5-25-11-2F(株)日本小児医事出版社内  
 TEL : 03-5388-5311 FAX : 03-5388-5193

13. 受験案内・受験票の送付

12月下旬にメールもしくは郵送いたします。  
 ※以下のアドレスを受信できるよう設定しておくこと。  
 senmonkaseido@heart.ocn.ne.jp

14. 別表（出題基準）

出題領域	出題のポイント	出題割合
公衆衛生看護学概論	公衆衛生看護の理念や活動の基礎となる理論、人の健康に影響する環境について問う	10%程度
公衆衛生看護学方法論（対象の把握とそれに適した方法の理解）	公衆衛生看護を展開する方法のうち、対象の理解、保健指導、健康相談、家庭訪問、ケアマネジメント、健康診断などについて問う	
公衆衛生看護学方法論（組織・集団・地域の理解と計画の立案、実施、評価のプロセス）	地域診断の概念・過程、計画・実践・評価、施策化のプロセスや組織・集団への支援方法について問う	
対象別公衆衛生看護活動論	母子保健活動、成人保健活動、高齢者保健活動、精神保健活動、障害児（者）保健活動、難病・感染症への保健活動、歯科保健活動に関する基本的な理解を問う	10%程度
産業保健（産業看護展開論も含む）	産業保健・産業看護の理念と目的、制度とシステム、健康課題及び展開方法について問う	30%程度
学校保健	学校保健の理念と目的、制度とシステム、健康課題及び展開方法について基本的な理解を問う	5%程度
健康危機管理	健康危機管理の理念と目的、制度とシステム、健康課題及び展開方法について基本的な理解を問う	
公衆衛生看護管理論	公衆衛生看護管理の構成要素、専門的自立と人材育成について基本的な理解を問う	30%程度
疫学	公衆衛生看護学の基盤となる統計学の基礎において基本的な理解を問う	
保健統計	公衆衛生看護学の基盤となる統計学の基礎、情報処理技術、統計情報とその活用について基本的な理解を問う	
保健医療福祉行政論	保健医療福祉行政・財政の理念と仕組み、地域の健康課題の解決に必要な社会資源の開発、保健医療福祉サービスの評価及び調整方法について基本的な理解を問う	15%程度